

統計表

世界の国々および地域の経済・社会に関する統計
(子どもの福祉を特に重視)

表	1. 基本統計	118
	2. 栄養指標	122
	3. 保健指標	126
	4. HIV / エイズ指標	130
	5. 教育指標	134
	6. 人口統計指標	138
	7. 経済指標	142
	8. 女性指標	146
	9. 子どもの保護指標	150
	10. 前進の速度	154
	11. 青少年指標	158
	12. 公平性指標－居住地	162
	13. 公平性指標－世帯の豊かさ	166
	14. 子どもの早期ケア指標	170
概要		108
データについての一般的留意事項		108
子どもの死亡率に関する推計値		109
5歳未満児死亡率の順位		110
国と地域の分類		112
特定の表に関する注記		113

記号の説明

以下の記号はすべての表に共通する。

- データを入手できない。
- x 列見出しで指定されている年または期間ではないデータ。このようなデータは、地域別・世界全体の平均値の算出には含まれていない（断り書きのある場合を除く）。
- y 標準的な定義とは異なるデータまたは国内の一部のみを参照するデータ。言及されている参照期間内のデータである場合、そのデータは地域平均や世界平均の算出に含まれている。
- * 列見出しで指定されている期間内に利用できる直近年次を参照するデータ。
- ** 中国を除く。

特定のデータ・ポイントの出典と年は、<data.unicef.org> において入手できる。特定の表で使われている記号は、その表の脚注で説明されている。

概要

以下は、国・地域（countries and territories）、並びに、世界のそれぞれの地域（regions）での、子どもの生存、発達、保護に関する最新の統計を掲載したものである。

ここに示した統計表は、国際的に合意された子どもの権利や発達に関連する目標や協定の実現に向けて、進展・結果を求め努力をしているユニセフの支えとなるものでもある。

統計は、国別や経年別にも比較可能となるよう最大限の努力が払われている。しかしながら、国レベルのデータは、データ収集の方法、推計値の算出方法、対象となる人口などが異なる可能性がある。また、ここに掲載されたデータは、年々進化する手法、時系列データの見直し（例えば、予防接種、妊産婦死亡率）、そして地域の分類変更などの影響を受けている。さらには、年単位でのデータ比較を可能にする指標が、ものによっては得られていないことがある。そういう意味では、これまでに出版された「世界子供白書」とのデータ比較は推奨できない。

本書に掲載されている数値は、ウェブサイト <www.unicef.org/sowc2016> とユニセフの世界統計データベース <data.unicef.org> に掲載されている。最新版の統計表のほか、出版後の更新情報および正誤表についても、上記ウェブサイトを参照されたい。

データについての一般的留意事項

以下の統計表に示したデータは、世界統計データベースから取得したものであり、定義と出典のほか、必要に応じて脚注も添えられている。統計表を作成するにあたっては、複数指標クラスター調査（MICS）や人口保健調査（DHS）など、関係機関の推計値と国別世帯調査を用いた。他の国連機関のデータも使用されている。

今年の統計表に示したデータには、2016年1月現在入手可能なデータが一般的に反映されている。手法とデータ出典に関するより詳細な情報は、<data.unicef.org> に掲載されている。

本書には、2015年版「世界人口予測（World Population Prospects: The 2015 Revision）」と2014年版「世界都市化予測（World Urbanization Prospects: The 2014 Revision）」（国連経済社会局発行）から得た最新の人口推計と将来推計も含まれている。近年になって人災または天災を被った国は、データの質が低下しやすい。その可能性が特に高いのは、国の基本インフラの破壊や大規模な人口移動が生じた国である。

複数指標クラスター調査（MICS）：ユニセフは、MICSを通して、信頼性が高く国際比較が可能なデータを各国が収集するのを支援している。1995年以来、100を超える国と地域において280件以上の調査が実施されてきた。

MICSは、ミレニアム開発目標（MDGs）など、子どもたちのための国際的に合意がなされた開発目標の達成に向けた進捗状況をモニタリングするための最大級のデータ源である。これらのデータの詳細な情報は、<mics.unicef.org> に掲載されている。